

# 滋賀県と アール・ブリュット



滋賀県では、戦後まもなく「日本の障害者福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄氏や田村一二氏、池田太郎氏たちにより、近江学園で粘土を利用した造形活動が始まりました。

「この子らを世の光に」とは、糸賀一雄氏が残した言葉ですが、障害のある人が見せてくれる様々な気づきやふるまいを光とし、私たちが導かれる形で世の中を良くしていく、生きていくという意味が込められています。近江学園で始まった造形活動は、その思想とともに県内の福祉施設に受け継がれ、多くの人びとが関わる中で、アール・ブリュットという領域で評価される作品も数多く見いだされてきました。

- 1946  
障害のある児童等の入所・教育・医療施設「近江学園」の創設  
翌年より施設内での造形活動の取組を開始
- 1954  
滋賀県の福祉施設に関わる展覧会が始まる
- 1981  
「土と色」展の開催  
滋賀、京都の知的障害のある人たちの造形活動とその作品を発表  
(以降18年にわたって京都市美術館等で開催)
- 2004  
「ボーダレス・アートミュージアムNO-MA」の開設  
障害のある人の表現を一般のアーティストの作品とともに展示
- 2008  
NO-MAと海外美術館との連携事業が始まる  
アール・ブリュット・コレクション(スイス・ローザンヌ市)での「JAPON展」の開催／アール・ブリュット・コレクションの収蔵作品を展示する「アール・ブリュット『交差する魂展』」巡回展の開催(東京、北海道、滋賀)  
「アール・ブリュット—パリ、abcdコレクションより—」  
県立近代美術館で開催
- 2010  
パリで「アール・ブリュット・ジャポネ」展の開催  
パリ市立アル・サン・ピエール美術館／巡回展の開催(福岡、埼玉、新潟)



——滋賀で生まれ育まれてきた  
アール・ブリュット

## アール・ブリュット 作家紹介 index

05-06  
澤田 真一  
1982年～ / 滋賀県在住

07-08  
喜舎場 盛也  
1979年～ / 沖縄県在住

09-10  
蒲生 卓也  
1978年～ / 福島県在住

11-12  
西川 智之  
1974年～ / 滋賀県在住

13-14  
下田 賢宗  
1983年～ / 岩手県在住

15-16  
吉川 秀昭  
1970年～ / 滋賀県在住

17-18  
鮎 万里絵  
1979年～ / 長野県在住

19-20  
宮間 英次郎  
1934年～ / 神奈川県在住

21-22  
舛次 崇  
1974年～ / 兵庫県在住

23-24  
木村 茜  
1983年～ / 滋賀県在住

25-26  
伊藤 喜彦  
1934年～2005年 / 滋賀県

27-28  
辻 勇二  
1977年～ / 愛知県在住